

学習過程が見える

学習過程を明示し、重点を置く過程を強調しています。生徒が見通しをもち、**自己調整**しながら**主体的**に学習できるようにしました。

「読むこと」の学習(手びき)と流れを統一。P6

POINT 1



情報を整理して書く

わかりやすく説明する

物事について説明するとき、相手に理解してもらえように伝えるには、どうすればいいだろう。ここでは、情報を集め、整理してわかりやすく説明する方法を学習しよう。

目標

- 集めた情報を、比較したり分類したりして整理する。
- 目的や相手に応じて、伝えたいことを明確にして書く。

生かす

- 言葉を選ぶ 19ページ
- 比較・分類 32ページ

- 1 目的や相手を明確にして題材を決める
 - 自分が興味をもっていることや、友達に知らせたいことを挙げる。
 - 目的や相手を明らかにして、説明する題材を決める。

2 情報を集め、整理する

- 選んだ題材の特徴や自分との関わりなど、説明したい事柄をマッピングや、付箋・カードなどを用いて書き出す。
- 比較したり分類したりして、集めた情報を整理する。

3 構成を考える

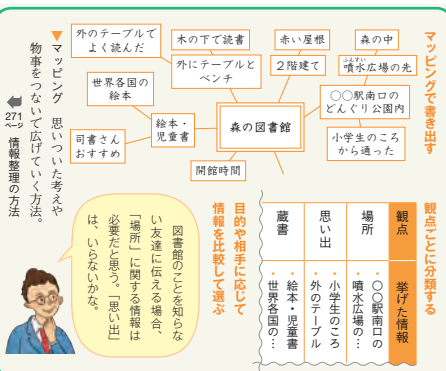
- どのように説明するかわかりやすいかを考える。
- 説明のしかたや順序について、友達と話し合ったりして助言する。

4 下書きをし、文章にまとめる

- 文章を読み合い、内容や説明のしかたについて、わかりやすいと思った点や興味をもったことを伝え合う。

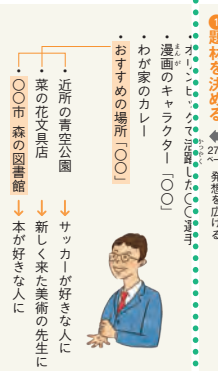
5 学習を振り返る

- 日常生活、家族に、学校生活について説明する。
- 学校生活、社会科や理科で、調べたことを整理してまとめる。
- 商品や道具の使い方などを説明する。



目的
森の図書館に興味をもってもらう。

相手
本が好きなクラスの友達。



観望点
森の図書館に興味をもってもらう。

相手
本が好きなクラスの友達。



最初の見開きで
学習活動が一覧できる

POINT 2

これまでの学びを生かす

関連する既習事項を提示。「書くこと」の学習で、「情報の扱い方」や説明文で学んだことを生かすなど、**領域を超えて、学びをつなげられる**ようにしています。

一年 レポート

- 比較・分類 32ページ
- 情報を引用しよう 64ページ
- 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 126ページ

説明文(記録)で学習した「事実と意見の関係」を、レポートを書くときに生かす。

POINT 3

情報整理や意見をもつための方法がわかる

情報の視覚化や思考ツールの使い方を具体的に示しました。また、「話すこと・聞くこと」では、活動の様子を動画で見られる**QRコード**を示しました。



POINT 4

社会に開かれた学び

「達人からのひと言」として、コピーライターや小説家からのアドバイスを掲載しました。**実社会**でも役立つことを実感でき、**キャリア教育**にもつながります。

二年 プレゼンテーション

達人からのひと言

相手動かそうとするのではなく、自ら動かしたいと感じてもらえる言葉を探し出そう。



梅田信司さん
(コピーライター)

POINT 5

学びを次につなぐ

学んだことを生かせる場面を示しました。「何のために学ぶのか」を実感することで、**学びに向かう意欲**を高められます。

つなぐ

- 日常生活 友達と放課後の予定を決める。
- 学校生活 委員会や部活動で話し合う。
- 将来 新商品の企画に向けて、チームで話し合う。

一年 グループ・ディスカッション

「話すこと・聞くこと」の系統とポイント

発表	1年	2年	3年
発表 声を届ける			
聞く 情報を的確に聞き取る	紹介 話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	説明・提案 魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	主張・提案 説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける
話す 話の構成を工夫しよう	話し合い 話し合いの展開を捉える 話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする	議論 異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	議論 話し合いを効果的に進める 合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く
新設 対話・質問	質問 聞き上手になろう 質問で話を引き出す	インタビュー 聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	対話 聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る
総合(まとめ)	発表 一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する	議論 国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る	発表 三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする

「書くこと」の系統とポイント

記録・調べ方	1年	2年	3年
情報整理 情報を整理して書く わかりやすく説明する	説明 情報を整理して書く 職業ガイドを作る	紹介 多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る	編集 文章の種類を選んで書く 修学旅行記を編集する
創作 詩を作ろう	創作 短歌を作ろう	創作 俳句を作って楽しむ	
手紙 項目を立てて書く 案内文を書く	手紙・電子メール 表現を工夫して書く 手紙や電子メールを書く		
推敲 読み手の立場に立つ	推敲 表現の効果を考える	推敲 論理の展開を整える	
意見・批評 根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く	意見 根拠の適切さを考えて書く 意見文を書く	批評 多角的に分析して書く 説得力のある批評文を書く	
評価・小論文 助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く	鑑賞文 魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く	小論文 情報を読み取って文章を書く グラフを基に小論文を書く	
創作 構成や描写を工夫して書く 体験を基に随筆を書く	創作(物語) 構成や展開を工夫して書く 「ある日の自分」の物語を書く	編集 三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	
総合(まとめ)	説明 一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する	報告 国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る	

「主体的に聞く力」を育てる
対話・質問教材

三年間を通して「聞き上手になろう」の系列を新設しました。相手の思いや考えを引き出すための質問力(主体的に聞く力)を育み、対話的な学びの基礎を築きます。

相手の言葉を引用して質問する

ききたい内容や質問の意図が明確になり、話し手が答えやすくなる。

他の言葉で言い換えて確かめる

話の内容を聞き手が言い換えることで、話を十分に理解していることを伝えることができる。

それはつまり...ということですか。

妹を連れての移動が大変だったそうですが、特に苦労したのはどんなところですか。

それはなぞです。

理由は尋ねる

それはなぜですか。

思いや考えをきく

そのとき、どう思いましたか。

詳しく教えてください。

言い換えて促す

それはどういふことですか。

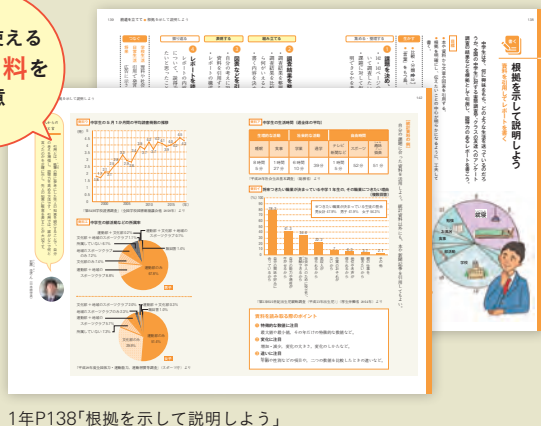
具体化を促す

上:1年P117「質問で話を引き出す」
左:2年P113「質問で思いや考えを引き出す」

現代に必要な
書く力を育てる

情報活用力を育むため、統計資料を引用してレポートを書く教材や、情報を整理・分析して小論文を書く教材など、図表や情報を読み解き、関連づけて書く活動を多数設定しました。

すぐに使える
統計資料を
用意



言葉に託された、人の思いにふれる
想像力を豊かにする文学的文章

「でも、じゃあ、
だからこそ
話そうよ。」

一年「シンシユン」



「世界は、
楽しいこと、悲しいこと、
美しいこと
で満ち満ちている。」

二年「アイスプラネット」



森の匂いがした。
秋の、夜に近い
時間の森。

三年読書「羊と鋼の森」

1年	2年	3年
新 朝のりレー [詩] 谷川俊太郎 言葉に出会うために 野原はうたう [詩] 工藤直子 学びをひらく 新 シンシユン [物語] 西加奈子 言葉に立ち止まる 詩の世界 [詩・解説] (新 序文・谷川俊太郎) 新 一枚の絵 木坂涼 新 朝 吉田加南子 新 未確認飛行物体 入沢康夫	見えないだけ [詩] 牟礼慶子 広がる学びへ アイスプラネット [小説] 椎名誠 言葉と向き合う 新 短歌に親しむ [短歌・解説] 栗木京子 短歌を味わう(6首) 言葉の力 [随筆] 大岡信	新 世界はうつくしいと [詩] 長田弘 深まる学びへ 握手 [小説] 井上ひさし 言葉とともに 俳句の可能性 [俳句・解説] 宇多喜代子 俳句を味わう(9句)
心の動き 大人になれなかった 弟たちに…… [物語] 米倉斉加年 星の花が降るころに [小説] 安東みきえ 音読を楽しもう 新 大阿蘇 [詩] 三好達治 自分を見つめる 少年の日の思い出 [小説] ヘルマン・ヘッセ／高橋健二 訳 新 随筆二編 [随筆] (空／えんぼう) 工藤直子 新 さくらの はなびら [詩] まど・みちお	人間のきずな 盆土産 [小説] 三浦哲郎 字のない葉書 [随筆] 向田邦子 音読を楽しもう 新 月夜の浜辺 [詩] 中原中也 表現を見つめる 走れメロス [小説] 太宰治 新 木 [詩] 田村隆一	状況の中で 挨拶―原爆の写真によせて [詩] 石垣りん 故郷 [小説] 魯迅／竹内好 訳 音読を楽しもう 初恋 [詩] 島崎藤村 未来へ向かって 温かいスープ [随筆] 今道友信 わたしを束ねないで [詩] 新川和江
読書教材 (本の中の子供・考える人になろう) 新 あと少し、もう少し 瀬尾まいこ 新 西の魔女が死んだ 梨木香歩 新 君たちはどう生きるか 吉野源三郎 資料編 坊っちゃん 夏目漱石 夏目漱石の生涯	読書教材 (翻訳作品を読み比べよう) 新 星の王子さま サン＝テグジュペリ 内藤濯・池澤夏樹 訳 資料編 新 形 菊池寛 菊池寛の生涯	読書教材 (「私の一冊を探しにいこう」) 新 羊と鋼の森 宮下奈都 資料編 高瀬舟 森鷗外 森鷗外の生涯

近代文学の
系列を新設

「困難は
分割せよ。」
三年「握手」



私は、
あんな美しい「青空」を
見たことがなかった。

一年「随筆二編」より「空」

雨は蕭々と降っている
一年「大阿蘇」

言葉の背後から
生命への賛歌が
聞こえてくるようです。

二年「短歌に親しむ」

もともと地上には
道はない。
歩く人が多くなれば、
それが道になるのだ。

三年「故郷」



視野を広げる……

文章の内容や論理の展開を正確に捉える系列

論理の吟味……

筆者の論理展開を客観的・批判的に読み解く系列

価値の創造……

筆者の考えを基に対象を評価し、新たな価値を見いだす系列

1年

新しい視点でダイコンは大きな根? ちよつと立ち止まって

言葉に立ち止まる

新 比喩で広がる言葉の世界

筋道を立てて

新 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ

価値を見いだす

新 「不便」の価値を見つめ直す

読書教材(本の中の中学生・考える人になろう)

新 プラインドの向こうに見える光

新 たのしい制約

資料編

幻の魚は生きていた

2年

多様な視点からクマゼミ増加の原因を探る

情報社会を生きる

新 「自分で考える時間」をもとう

論理を捉えて

モアイは語る — 地球の未来

価値を語る

君は「最後の晩餐」を知っているか

読書教材(研究の現場によこそ)

新 日本に野生のゾウやサイがいた頃

新 クモの糸でバイオリン

資料編

生物が記録する科学

3年

視野を広げて作られた「物語」を超えて

情報社会を生きる

新 実用的な文章を読もう

自らの考えを

新 人工知能との未来

価値を生み出す

誰かの代わりに

読書教材(本は世界への扉)

新 エルサルバドルの少女ヘスース

新 紛争地の看護師

資料編

二つの悲しみ

3 実社会で役立つ力をつける

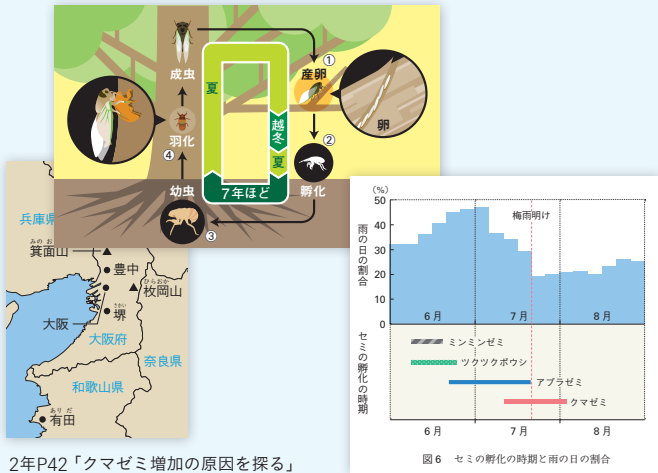
パンフレットや取扱説明書などの実用文や、ウェブサイトの記事を読む教材を用意しました。情報の信頼性を確かめる方法を身につけられます。

ウェブサイトで続きを読めます。



1 文章と図表を結び付ける

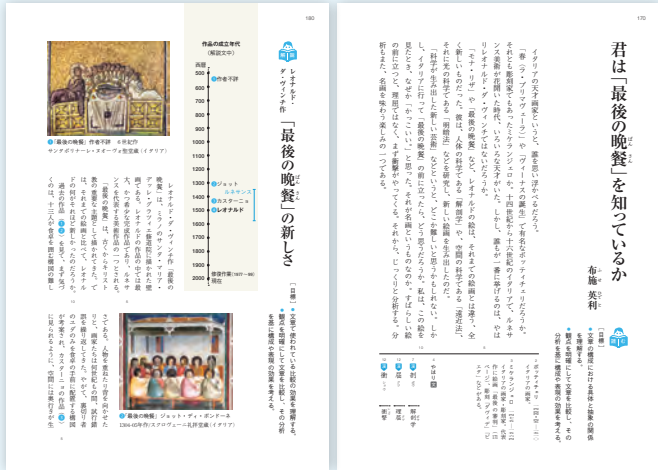
模式図、地図、写真、表、グラフなど、多様な図表を用いた文章を掲載。文章と図表を結び付けて読む力を育みます。



2年P42 「クマゼミ増加の原因を探る」

2 比較して読む・批判的に読む

比較して読むことができる教材を複数用意しました。情報をうのみにせず、複数の視点で対象を吟味したり、評価したりする力を養います。



真実を見極める力を 実践で学ぶ新しい「情報」教材

詳しくは

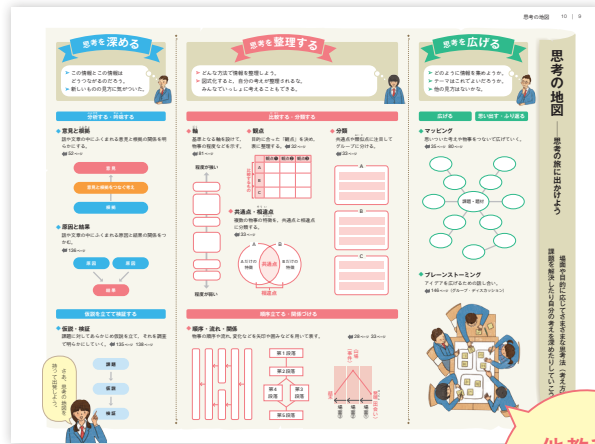
光村の国語 完全活用ガイド
論理的思考力を育む「情報」教材

新しい学習指導要領では、「情報の扱い方に関する事項」が新設されました。急速に情報化が進み、多様化する社会の中で必要となる力を、無理なく身につけられるよう、系統立てて教材化しました。

見通しをもつ

思考の地図

巻頭に、さまざまな場面で使える思考ツールや情報の可視化の方法を示しました。



1年P9「思考の地図」

他教科や
日常生活でも
使える

理解する

情報整理のレッスン・思考のレッスン

よくある日常の「困った場面」を出発点に、見開きでポイントを解説しました。



1年P136「思考のレッスン2 原因と結果」

活用・定着する

情報社会を生きる

社会生活の中で、情報を適切に読み解く方法を実践的に学びます。



2年P60「メディアを比べよう」

思わず「本」に手を伸ばしたくなる 読書教材の楽しい仕掛け

教科書から広がる新しい読書教材

作品の一部を紹介して続きを読むように促したり、自分に合った本の探し方を提案したりするなど、教材の示し方を工夫しました。

魅力的な読書活動

「本を紹介する」「感想を共有する」「読書生活をデザインする」の三つの系統で、取り組みやすく、意義のある読書活動を位置づけました。



2年P84「翻訳作品を読み比べよう」

本に手を
伸ばすように



2年P83「読書を楽しむ」

1年P83「読書を楽しむ」

図書紹介がさらに充実

教材内の「広がる読書」、読書教材内の「本の世界を広げよう」では、412冊に上る図書を紹介しています。選書にあたっては、四十七都道府県の推薦図書リストなどを参考にしました。

紹介図書数
現 281冊
(内、表紙付241)
新 412冊
(内、表紙付277)



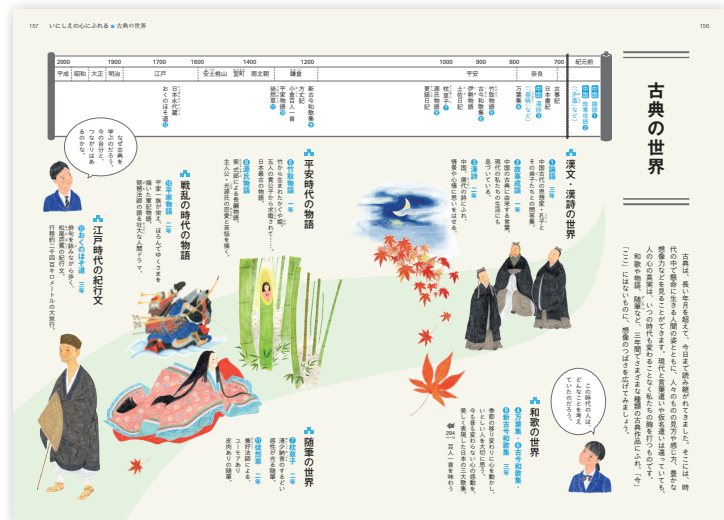
3年P193「本の世界を広げよう」

生徒の
読書意欲を
喚起する

日本語の美しさを味わう 古典や詩歌との新鮮な出会い

古典の世界へのいざない

古典の導入教材として、「古典の世界」を新設。
中学校三年間で学習する古典を、華やかなイラストとともに見渡せるようにしました。これから始まる古典学習への期待を高めます。



1年P156「古典の世界」

古典教材がさらに充実

一年

古典への入り口にふさわしい作品を追加。

新「古典の世界」

新「百人一首を味わう」(資料編)

二年

作品の世界観を掘り下げる章段を追加。

・「枕草子」

新「うつくしきもの」「月のいと明かき」

・「平家物語」

新「敦盛の最期」(資料編「古典の世界を広げる」)

三年

高校古典への掛け橋として名作を紹介。令和の典拠、「万葉集」梅花の歌の序文も掲載。

新「古典名句・名言集」

時に、初春の令月にして、
気淑く風和らぎ、
梅は鏡前の粉を披き、
蘭は珮後の香を薫らす。



季節のしおり

四季の言葉や詩歌を挿絵とともに紹介。生徒の感性を揺さぶるような名文や情緒あふれる言葉を厳選しました。



言葉に
立ち止まる
きっかけに

1年P94「季節のしおり 夏」
2年P27「季節のしおり 春」

中扉・後見返し

日本語の豊かさや美しさにふれる場として、中扉に「時を表す言葉」(一年)、「色の名前」(二年)、「季節の言葉」(三年)を紹介し、後見返しで一覧にしました。



季節の言葉 春隣 | 植物, 光, 大気など自然の全てから春の訪れが感じられる様子。

豊富な図版資料

各学年、古典の世界を感じ取るための図版資料を豊富に掲載しています。



1年「蓬菜の玉の枝」図版資料
映画「かくや姫の物語」(高畑勲)



3年「和歌の世界」図版資料「百人一首かるた」



2年「源氏と平家」図版資料 大鑑

3年

季節の言葉

花野
 木下闇
 麦秋
 麗らか

春隣
 小春日和
 時雨
 秋澄む

2年

色の名前

青竹色
 群青
 苗色
 桜色

紅梅色
 照柿
 赤朽葉
 空色

1年

時を表す言葉

日盛り
 白昼
 朝
 黎明

東雲
 夜半
 黄昏
 昼下がり

生きて働く力になる 言語生活を豊かにする言葉の学び

導入を楽しむ

学習の導入は、親しみやすいイラストを用いて、「楽しく」学習に取り組むことができるように工夫しています。

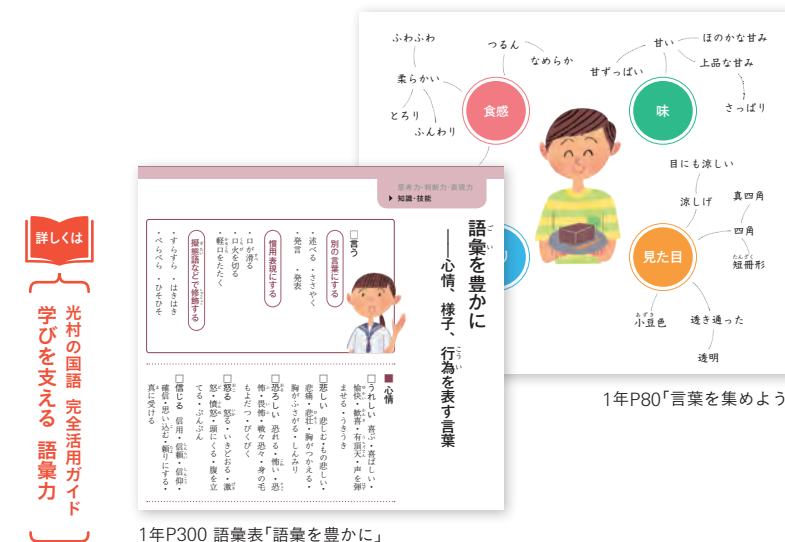


3年P117「慣用句・ことわざ・故事成語」

2年P59「単語をどう分ける？」

語彙力を高める

語彙の量と質を高めるための教材を各学年に設けています。また、考えたり、表現したりするときに役立つ語彙表を用意しました。



1年P80「言葉を集めよう」

1年P300 語彙表「語彙を豊かに」

他の学習や日常に生かす

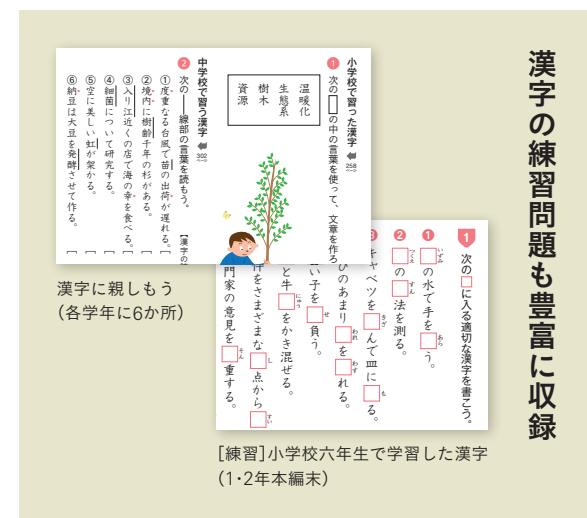
学んだことを、単に知識として覚えるのではなく、三領域や他教科の学習、日常生活で活用していくためのポイントを示しています。

一年P79「指示する語句と接続する語句」

読むことには生かす
接続する語句に着目して読む

説明的な文章を読むときには、接続する語句が、文

漢字の練習問題も豊富に収録



〔練習〕小学校六年生で学習した漢字
(1・2年本編末)

表紙について

今回の表紙画を制作するにあたり、編集部と相談を重ね、テーマを「つながる世界」としました。

一年から三年まで、一年ごとにそれぞれ、海より生まれ、大地を駆け回り、空へと羽ばたく、という個別のテーマをもたせました。横に並べると三枚の絵が一つにつながる構成で世界のつながりを表現し、さらに三枚の絵を通して、小さな世界から少しずつ他者とながら、広い世界と出会い、理想へ向かって進んでいく、人間が成長するイメージを重ねました。自分、家族、友達、地域、学校、食べ物、お金、歴史、政治、日本、自然、地球、一見ばらばらに思える物事は、実は大きく緩やかにつながっています。他者とのつながりを考えるとき、言葉がもたらす影響は大きく、言葉によって私たちは他者を、そして社会を知っていきます。世界と出会うとき、人はおそらく想像を超えた広さと美しさに触れ、そこからさまざまなことを教えられ、次には誰かに伝えて

いきます。言葉をもって。理想へ向かって進むとき、短い言葉で的確に伝える技を身につけていたら、そのことは自分を助け、他者をも助けることができるかもしれません。自分とそれ以外をつなぐ境界としての言葉は、うまく使いこなせば、この上なく便利な道具として自分を守る武器となり、反対にたやすく人を傷つけることもできます。言葉の力を使ってどう世界とつながるか、いかに伝えるかということは、受け取ることに加え、発していく機会が増えた現代社会においてさらに重要性を増すでしょう。

あなたの言葉は、誰かに届く。

だからこそ国語を学び、受け取る力に増してアウトプットの力をより大切に育ててほしいと願います。少しだけ先に大人になった者より、未来の大人になる中学生へ。

言葉の力を味方につけて、正しい知識と知恵をもって美しい世界とつながり、一人一人が自分の物語を力強く羽ばたけますように。そんなエールを贈る気持ちで描きました。

生駒さちこ（いこまさちこ）

神戸市出身。会社員を経てイラストレーターになる。セツ・モードセミナー卒。二〇〇六年よりフリーランス。挿画、広告、テキストスタイルなどさまざまな分野で活動中。水彩による一枚絵、空気感のある絵を得意とする。鉛筆、三色カラーシャープペンシルによるドローイングにも力を入れる。二〇〇九年より関西出身のイラストレーターユニット「なりゆきサーカス」に参加。
<https://icoonatz.com/>



3年

2年

1年